

中国、世界最大の工業用ロボット市場に

2015～2017年、中国の工業用ロボット業界は成長を続けた。2017年には15.9万台に到達。伸び幅は76.4%に達した。しかし、2018年には工業用ロボットのニーズが最も大きい業界——自動車業界が28年来初の売上減を記録。3C業界の成長率も大幅に減少した。この2大業界への投資も激減、工業用ロボットの需要も減少した。2018年には前年比で1.7%減、2019年上半期には前年同期比で10%の減少を記録している。販売台数は約7.85万台に止まった。

【中国の工業用ロボットの販売台数】



IFR（国際ロボット連合会）と中国電子学会のデータによると、2018年の中国における工業用ロボットの売上は54.2億米ドルで、前年比5.9%増加した。伸び幅は前年比24.4%減となった。

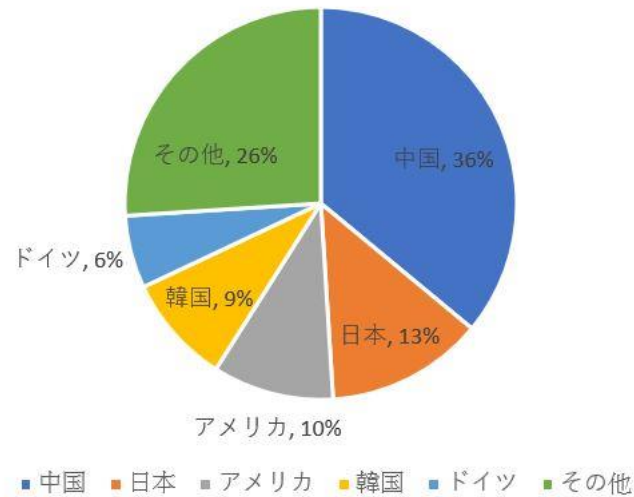
【中国の工業用ロボットの売上高】



出典：国際ロボット連合会(IFR)

IFRの統計によると、2018年に中国、日本、韓国、アメリカ、ドイツの五大工業用ロボット市場で設置された工業用ロボットの数は世界全体の74%に達した。うち、中国の工業用ロボット市場の累計販売台数は15.6万台で、前年比1.73%減少。世界の36%を占めた。販売台数では6年連続で世界トップに立っている。

【2018年 工業用ロボット販売台数のエリア別分布】



出典：国際ロボット連合会(IFR)